



◇人体に影響がある汚染物質◇

春先から多く飛散していると思われる「花粉」は、量の少なくなる真夏時期も含め1年中飛散しているのだと云います。

花粉症は、くしゃみや鼻水、目のかゆみなどの症状が出ます。家の中での花粉症対策は、花粉を含んだ外気を吸入換気する際にフィルター除去する性能が求められます。2013年10月、国際がん研究機関で大気汚染やその主要成分である微小粒子状物質「PM2.5」が、人に対する発がん性があると認め、中でも危険性が最も高い分類として発表しました。

この発がん性があると認められた微小粒子状物質は、肺などの呼吸器だけでなく、心臓や脳などの循環器、アレルギーなどの病気にも関係していることが分かっています。

◇空気に対する意識の違い◇

私達は、1日あたり約14,000リットルの空気を吸っていると云われます。

1回の呼吸で0.5リットルの空気を呼吸しております。外の空気0.5リットルに含まれる汚染物は、2マイクロメートル程の微粒子で約1万個、0.3マイクロメートルになると約6億個もの微粒子が外に浮遊しています。

その汚染物質の含んだ外気は、換気によって住宅内に侵入して来ますが、近年、国の排ガス規制等により、外気の汚染具合は減少傾向にあるという調査結果もあり、人々の「空気に対する関心」が薄れつつあります。

一方で昨今の住宅では、大陸から流れてくるとされるPM2.5でのがん予防対策で設置される換気機器にPM2.5の除去対策を施した機材が増えています。

このような背景は、これから住宅を建てようとしている人が「室内の空気質」にも注目しているということが伺えます。

暖かさを求めると同時に、綺麗な空気と健康に対する意識も高くなっていることが分かります。

特に注目されているのは、花粉等に対するアレルギー症状を発する30~40歳代の人達が多いと云われます。その対策としては、換気時の空気清浄機の設置に加え、室内で喫煙を行わないなどの工夫を個人でされているようです。

喫煙者には、喫煙専用ルームの設置もまた必須なのかも知れません。

◇室内のハウスダストゼロを目指す！◇

時代背景から室内での空気質や健康に配慮する人は、しだいに多くなってきているとのデータもあります。

ところがどのような空気清浄機が良いか分からないなど、空気清浄機の対象範囲が狭く、家に何台の空気清浄機が必要になるかも問われます。

住む人に常に新鮮でキレイな空気と健康を提供する「電子式集塵フィルターを搭載した空気浄化システム」を㈱福地建装ファース本部と分煙機のパイオニアでもある㈱トルネックスで共同開発しました。

この電子式集塵フィルターとは、一般的なフィルターと異なり、静電気の力を利用して、微小な汚染物を捕集します。

また、「ファースの家」独自の換気方法によって、家の中の空気を循環させている流れの中で室内空気を清浄化し、さらに外から室内へ取り入れる空気も清浄化する、室内外の空気清浄化を可能にした唯一のシステムです。

その性能は0.3マイクロメートルの汚染物も約98%捕集する清浄機能があり、国内初となる換気システムとなります。

実際に設置した農業経営者は、「肥料の石灰を使用し、風の強い日には土埃も舞うこともあり、住宅内の空気を気にされていたが、このシステムを採用した事で家中の空気が綺麗になり、不安解消できた」と喜びの声も頂いております。

海外から来る大気汚染物による発がん性、アレルギー症状が辛い花粉、ホコリやダニのフン・死骸などが影響する気管支喘息、これらの健康被害を最小限にして、住宅内の空気と住む人の健康と快適を維持することができる「ファースの家」の「ハイブリッド空気浄化システム」。

空気を、「美味しい！」と感じる事の出来て寛げる我家の中で、胸いっぱい深呼吸できる住環境は、山奥の森林呼吸と同じくらい住む人に健康と快適さ、そして安心を提供できています。
(著・研究開発室 富田武美)

幸太の知恵袋

空気に対する意識

アンケートで「空気が心地よいと思う場所」を聞いたら、1位が日本アルプス、2位が屋久島、3位が富士山なんだった。やっぱりおいしい空気は雰囲気やイメージがとても大切なんだね！ちなみに東京の空気が濁っていると思っている人は、87%もいるんだって。やっぱりこれも雰囲気やイメージで濁っていると思われるのかも知れないね！